

佐波巨（まほ）牧師。明治十四年四月、二十四日神奈川県横須賀生れ、昭和二十二年四月八日没（二六八一—一九六六）。植村止久の女婿。東京帝國大學法科大學中退、東京神學社卒。明治四十五年牧師となり、翌年以降大森教會勤務。昭和二十六年日本基督教團より離脱、日本基督教會の創設に盡力、議長就任。

著書 『徳島県花十周年記念講演集』（合著、昭和十一年八月五日蘆花會）、

『キリストの證人（日本篇）』（合著・小塩方編、昭和二十六年十一月

月十日新教出版社）『信仰指導叢書』（『思龍の香氣』（昭和二十四

年十一月）『二十日佐波止一刊』等。文獻公、木村健次郎編『植村記念佐波文

庫自録』（昭和四十年二月八日東京女子大學附屬比較文化研究所）、

武藤昌男著『思龍』二人ーウエンライトと佐波巨』（昭和四十一年一月

十日キリスト新聞社）『伝道新書』等。